

第4回甲子園筋街路樹検討 ワークショップNEWS 2022.6.25号



甲子園筋の街路樹も夏の姿になりました。兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所では、多くの課題を抱える甲子園筋の街路樹あり方について、地域の皆様の意見を反映した街路樹計画を策定し、共に課題解決に取り組むと考えております。様々な視点から知恵を出し合い、意見交換を積み重ねながら計画を策定できるように、ワークショップ形式で検討を進めています。

2022年6月25日に第4回目のワークショップを開催しましたので、その内容をお知らせします。

第4回目のワークショップでは、甲子園筋の街路樹の候補樹木、植え替え手順について皆で考えました。

第4回ワークショップでは、街路樹の候補樹木、植え替え順について考えました。

まず、新しいファシリテーター矢下さんを紹介しました。日本経済大学准教授の矢下さんは、新聞社系の出版社で、ビジネス誌では地域活性や地域コミュニティの取材経験があり、現在は地域活動にも携わられています。



ファシリテーター：
矢下 幸司
(日本経済大学准教授)

続いて、樹木医の小西さんから候補樹木の説明があり、前半は、その内容をもとに意見交換を行いました。後半は、西宮土木事務所から示された植え替え手順の案をめぐって意見交換を行いました。



街の価値を高める街路樹

阪神南地域は、魅力的な住宅地として人気のエリアであり、住宅地として高い価値を保ってきました。その要因の一つが街路樹に代表される「緑の豊かさ」です。それは、地域での暮らしを彩り、心豊かにしてくれる背景であり、住民の心の「原風景」を構成するものでもあります。

ワークショップでは、そうした「原風景」を守りたい、という住民の強い願いが示されました。さらに、街路樹の植え替えは、いわば次代に向けた「原風景」をつくりだすことだ、という観点の大切さも浮かび上がりました。この観点から、更新計画を長期的な見通しのもとで策定すること、樹々と街灯や道路の諸施設との調和など街の景観全体を考えていくことの必要性が確認されました。

こうした意見をふまえ、次回のワークショップでは、植え替え候補の樹木それぞれが生み出す景観のシミュレーションを示し、それをもとに意見交換を行います。



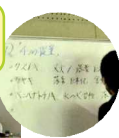
候補樹木の説明

街路樹の候補について

ワークショップの前半は、第3回ワークショップで行った「甲子園筋にふさわしい街路樹のイメージ」アンケートを受け、追加した候補樹木について、樹木医の小西さんから説明がありました。



樹木医・小西さんより、樹木候補の説明がありました。



クスノキ

(常緑高木)



樹高は20mくらいになる。兵庫県の県木で、丈夫。春の若葉は、明るい緑黄色で目立つ。秋には、古い葉が落葉するが、そのときに紅葉する。

ケヤキ

(落葉高木)



景観が良く黄色や赤色へ移り変わる紅葉が綺麗な樹木。ただし、大量の落ち葉が発生する。

ベニバナトチノキ

(落葉広葉 高木)

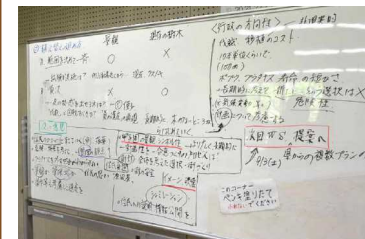


樹高15mを超える大木となるため、相応のスペースが必要。樹形は半球状になり、剪定はあまり好まない。強風に弱く、水やりが必要。阪急夙川駅付近の街路樹として採用されている。

前半：候補樹木について

候補樹木への意見

- 甲子園筋の原風景は極端に変えて欲しくありません。全体の景観がバランスの良いものになりたいです。
- 今回、新たに候補樹木を追加して提案したのはなぜですか。
⇒ (西宮土木) これまでのワークショップでの樹種への意見を踏まえて、追加で提案しました。
- ポプラ、プラタナスを外す理由がよく分かりません。
⇒ (西宮土木) それらの樹種は全国的に倒木事故が多発しており、道路の安全管理面で懸念が多いため、新たには植えません。
- シマトネリコは繁殖力が高く、周辺で自生するなど客観的に問題が多い樹種だと思います。
⇒ (西宮土木) シマトネリコの特性は認識しています。住宅に近い地域での街路樹としてふさわしいものか再検討します。



ワークショップに関するお問い合わせ

兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所 担当：植野（うえの）
電話：0798-39-6133 ファクス：0798-34-2868



第4回ワークショップで話し合った内容・主な意見・意見交換

街路樹の植え替え手順

前回ワークショップで植え替え手順をどうするかがありました。手順の特徴について西宮土木事務所から説明がありました。

県から「植え替えは、一斉か、老朽樹木・倒木樹木からか」メリットとデメリットの説明がありました。



1 ある程度の範囲を決めて植え替え

メリット
<ul style="list-style-type: none"> ・植え替え作業が1回で済む。 ・成長が同時期となる。 ・今後の樹種交換のイメージが分かりやすい。 ・年次的・完成時期の目途が立てやすい。
デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・伐採対象木が増えると少量しか更新出来ない。 ・地域により、植え替え時期にばらつきが出る。 ・健全な木も伐採となる。

植え替えの説明を聞き、意見・情報交換を行いました。



説明を受け、意見交換を行いました。原風景を尊重、町の価値、長期視野の計画等の意見が出ました。

2 老朽木・伐採箇所から順次植え替え

メリット
<ul style="list-style-type: none"> ・歯抜け状態の箇所に植えることが出来る。 ・街路樹の総本数が減らない。 ・倒木・危険木に対する早期のリスク回避が出来る。
デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・樹種が混在するため、統一感に乏しい。 ・成長時期にばらつきが生じる。 ・更新済箇所の把握が難しい。

後半：植え替え手順について

植え替え手順への意見

- 甲子園筋の原風景を維持しながら進めて頂きたいと思えます。
- 今後の更新イメージがつきやすいので、駅北の高木の少ないエリアを優先的に着手してはどうか。
- 街灯や道路幅、全体の高さなどイメージで提案してもらわないと、どう決めてよいか分かりません。自治会としての意見をまとめるためにも、次回のワークショップまでに事前に更新計画を提案してもらいたい。
⇒ (西宮土木) 数種類の樹木イメージ図を用いた更新計画案を作成し、事前に自治会へ送付いたします。



ワークショップの主旨・スケジュール

【目的】

■ 多様な視点から知恵を出し合い、地域の皆さまの意見を反映した「甲子園筋の街路樹計画」を策定し、皆様に愛され親しまれる甲子園筋の街路樹形成を目指します。

【参加者】

- 上甲子園1丁目福祉会、浦風自治会、甲子園一番自治会、甲子園二・三番町自治会、甲子園四番町自治会、甲子園五番町自治会、甲子園六番町自治会、浜田福祉会、(※所用のため欠席) ※甲子園第8コーポラス自治会
- 兵庫県阪南県民センター西宮土木事務所
- 西宮市公園緑地課
- NPO法人シンフォニー

【ワークショップ スケジュール (予定)】

ステップ 1	● 第1回ワークショップ 『甲子園筋のあり方と街路樹の現状と問題・課題を確認しよう』	2021年12月12日(土)
ステップ 2	● 第2回ワークショップ 『どんな街路樹にしていこうか考えよう』① ・みんなで現地を確認・意見交換	2022年2月5日(土)
ステップ 2	● 第3回ワークショップ 『どんな街路樹にしていこうか考えよう』② ・街路樹選定のポイント説明 ・管理状況の説明 ・どんな街路樹が良いか? シート貼りアンケートと意見交換	2022年5月14日(土)
ステップ 3	● 第4回ワークショップ 『甲子園筋の街路樹をこうしよう』① ・更新計画を考える (意見のとりまとめ)	2022年6月25日(土) 今回はここでず
ステップ 3	● 第5回ワークショップ 『甲子園筋の街路樹をこうしよう』② ・更新計画の提案	2022年9月24日(土) 予定
ステップ 4	● 第6回ワークショップ 『甲子園筋の街路樹更新計画』 ・更新計画の内容確認	日程: 未定

次回 第5回ワークショップのお知らせ

- 日時：2022年9月24日(土)
10:00~12:00

- 場所：瓦林公園センター集會室
- 内容：『甲子園筋の街路樹をこうしよう』②

